

京阪グループは、創業以来一世紀にわたり育み守ってきた「安全・安心」の基盤をさらに強固にすると同時に、人口減少など厳しい経営環境に直面するなかで、創業の精神に立ち返り、社会の変化に機敏に対応して京阪グループ事業の質的向上を図り、過去の延長上から飛躍する新たな第一歩を踏み出す挑戦を開始しています。

## 【基本方針】第2創業ステージでの挑戦～「創生果敢」～

### 主軸戦略 / グループが横断的に取り組むべき戦略

## 1. 「観光創造」で新たな成長

急伸する訪日外国人旅行者(インバウンド)をターゲットとしたサービス・ラインナップの充実を図り、京都・大阪をはじめとする周辺エリアを含めたインバウンド市場の成長を京阪グループに取り込みます。

最重点  
プロジェクト

#### 京都駅前エリアのグローバル拠点化

京都の表玄関であり、京阪グループのホテルなどが集積する「京都駅前」を京都観光の起点とすべく、京都センチュリーホテルおよび京都第2タワーホテルの一体的再開発や、京都タワーでの観光センター設置などによるインバウンド観光拠点化を進めるとともに、京阪沿線との交通結節も強化してまいります。

京都センチュリーホテル



## 2. 京阪沿線を新しくデザインする「沿線再耕」

高度成長期に急速に発展し更新期を迎えている京阪沿線において、ハード面の更新に加え、駅を中心に沿線の「くらしの価値」を高めることに主眼を置いた新しいまちづくりを推進します。

最重点  
プロジェクト

#### 枚方市駅および周辺エリア再開発

京阪線で京橋、淀屋橋につぐ乗降客数の枚方市駅において再開発に取り組み、沿線の活性化を図ってまいります。今後は枚方市駅周辺にとどまらず、順次その対象を拡大していく予定です。

枚方市駅



## 3. 「くらしの価値」を高めるコンテンツの創造

鉄道をはじめとするインフラ事業などのコア事業に加え、お客さまの「くらしの価値」を高める新たなコンテンツを創造し、コア事業との相乗効果を高めます。

最重点  
プロジェクト

#### 「BIOSTYLE」をテーマとしたコンテンツの創造

「健康的で美しくクオリティの高い生活」を実現し、循環型社会に寄与するライフスタイルとして京阪グループが提案する「BIOSTYLE」を「安全・安心」に次ぐ新たな京阪ブランドとして確立することをめざしてまいります。

BIOSTYLE  
京都・四條河原町プロジェクト  
(完成イメージ)



## 4. 「確固たるグループ経営」のスタイル確立

「第2の創業ステージ」における課題に取り組み、成長するに相応しい経営スタイルを確立します。この実現に向け、平成28年4月に持株会社体制へ移行しました。

#### 持株会社体制のねらい

- 各事業の自立化により、一層の体質強化と意識改革、各事業にマッチした経営スタイルの確立を通じて、競争力の強化をめざす
- 持株会社がリーダーシップを発揮することにより、多岐にわたるグループ事業の横断的戦略の実行、異業種との連携を含む新たなビジネスモデルの創出、重点事業拡大のための経営資源の効率的配分をめざす
- 持株会社による、各種事業用物件の戦略的な取得・開発・保有・売却(流動化を含む)の推進およびグループ保有不動産の最も有効活用の促進(グループCRE)により、沿線再耕をはじめ、グループ事業のエリア拡大をめざす